I-O DATA

INDEX

はじめに
インストールと起動
使ってみよう
ふろく

Quick Drive LE
クイックドライブLE
for DVD/CD

取扱説明書

Q-DRV_LE-E01

もくじ

はじめに

QuickDrive LE for DVD/CD とは？ ・・・・・・・・・・・・・・・2

インストールと起動

インストールする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
起動する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
右クリックメニューからできること・・・・・・・・・・・・・・・・・5

使ってみよう

ワンタッチトレイイジェクト機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
オートイジェクト機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
QuickDrive for DVD/CD の情報 / 設定 ・・・・・・・・・・・・・・・9

ふろく

メディアアイコン一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
アンインストール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
困ったときには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

お問い合わせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

QuickDrive LE for DVD/CDとは?

QuickDrive LE for DVD/CD（以下、「QuickDrive」と呼びます。）は、ワンクリックでトレイを開閉したり、CD を簡単にコピーするなど、DVD ドライブをさらに便利にお使いいただくための ユーティリティソフト「QuickDrive for DVD/CD」の機能制限版です。
以下の機能をご利用いただけます。

イジェクトボタンが押しにくくても大丈夫！

ワンタッチトレイイジェクト機能

タスクトレイの QuickDrive アイコンをワンクリックするだけで、トレイを開閉することができます。（ポータブルドライブの場合など、トレイの形状によっては閉じることはできません。）

≫ 6ページ参照

もうメディアを取り忘れない！

オートイジェクト機能

Windows 終了時にドライブの中にメディアが入ったままの場合、自動的にトレイをイジェクトさせることができます。また、ダイアログを表示させ、動作を都度選択することも可能です。

≫ 7ページ参照

どのメディアを入れたか一目瞭然！

メディアアイコン表示機能

ドライブに挿入されたメディアの種類を判別して、タスクトレイの QuickDrive アイコンが変化します。どのメディアが挿入されているか、画面上ですぐに確認することができます。

≫ 11ページ参照

DVD 再生時に最適！

サイレントモード

ドライブの回転数を制御し、高速回転による騒音を抑えることができます。DVD ビデオをパソコンで再生するときも、静かに鑑賞することができます。

≫ 5ページ参照

外付ドライブの取り外しに便利！

デバイス取り外し機能

タスクトレイの QuickDrive アイコンを右クリックすることで、希望の外付ドライブを確実にパソコンから取り外すことができます。（Windows Vista™/XP/2000 のみ対応）

≫ 5ページ参照

参考

製品版「QuickDrive for DVD/CD」には上記機能の他、CD を簡単にコピーする機能や、メディア内のデータを簡単に高速消去する機能等、DVD ドライブをさらに便利にお使いいただくことができる機能を搭載しています。
「QuickDrive for DVD/CD」は弊社オンラインショップ「ioPLAZA」にて販売しております。
ご購入の際には以下の URL よりアクセスしてください。

http://www.ioplaza.jp/

インストールする

インストール手順は、製品に添付の冊子「セットアップガイド」をご覧ください。

ご注意

- Windowsを管理者（Administrator）権限でログオンしてください。（Windows Meを除く）
- 弊社製トレイコントロールユーティリティ「見張っトレイ」をインストールしている場合は、あらかじめアンインストールしてください。

起動する

QuickDrive を起動します。

手順.1

DVDドライブがパソコンに接続されていることを確認します。

ご注意

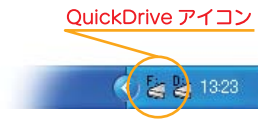
QuickDrive 起動後に接続されたドライブは認識されません。
その場合は QuickDrive を一旦終了し、起動しなおしてください。

手順.2

デスクトップ上にある[QuickDrive for DVD/CD]ショートカットアイコンをダブルクリックします。

手順.3

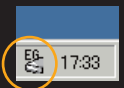
接続されているドライブ毎に、QuickDriveアイコンが画面右下のタスクトレイに表示されます。それぞれのQuickDriveアイコンには各DVDドライブのドライブ文字（番号）が併せて表示されます。



ご注意

- 接続されているドライブの台数分だけアイコンが表示されます。
- ドライブ文字（番号）はパソコン環境によって異なります。
- Windows 2000/Meでは、弊社製DVDドライブ添付の「DVD-RAMドライバー」をインストールすると、1台のDVDドライブで「CD-ROM」と「リムーバブルディスク」の2つのドライブ文字（番号）がマイコンピュータに登録されます。QuickDriveでは対象となるこの2つのドライブ文字（番号）を1つのQuickDriveアイコンで表示します。

画面例：1台のDVDドライブがEドライブ、Gドライブで登録されている場合 ⇒



参考

- Windows起動時にQuickDriveを自動起動することができます。
≫ 11ページ参照
- QuickDriveアイコンにマウスをかざすと、ドライブ名が表示されます。

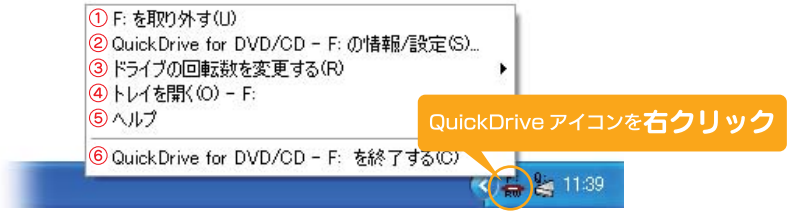
- メディアを挿入するとメディアの種類に応じてQuickDriveアイコンが変化します。(メディアアイコン表示機能)
メディアアイコン一覧については･･･ ≫ 11ページ参照

▲ 画面例：CD-Rメディアを挿入している場合

右クリックメニューからできること

QuickDrive の操作は主に画面右下のタスクトレイにある QuickDrive アイコンの右クリックメニューより実行できます。

参考
DVDドライブの仕様や挿入されたメディアによって実行できるメニューは異なります。現在実行できるメニューのみが表示されます。



▲画面例：Windows XPで外付けのFドライブにCD-RWメディアを挿入している場合

①	ドライブ文字(番号):を取り外す	デバイス取り外し機能です。ここをクリックすると、希望する外付DVDドライブを確実に取り外すことができます。(Windows Me/98 SE非対応) [取り外しが終了しました。] と表示されたら、パソコンから DVD ドライブを取り外してください。 ⇑ 画面例：Windows XPの場合 ※取り外しても QuickDrive アイコンは（×）の状態で残ります。再度同じドライブを接続し直せば、そのまま QuickDrive を使用することができます。 ※Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は [続行] をクリックしてください。
②	QuickDrive for DVD/CD ドライブ文字(番号):の情報/設定	ドライブやメディアの情報を表示します。また、QuickDriveの詳細な設定をおこないます。オートイジェクト機能についての設定も行えます。 ≫ 7ページ参照
③	ドライブの回転数を変更する	サイレントモードです。DVDドライブの回転数を下げることにより、ドライブの回転音が静かになります。最小にする ⇔ レベル2 ⇔ レベル3 ⇔ レベル4 ⇔ 最大にする の中から選択します。 ※メディアが挿入されている場合にのみ表示されます。 ※ご使用の DVD ドライブによっては回転数が変化しない場合があります。
④	オープン(またはクローズ) - ドライブ文字(番号):	トレイを開閉します。またQuickDriveアイコンをクリックしてもトレイを開閉することができます。 ワンタッチトレイイジェクト機能については･･･ ≫ 6ページ参照
⑤	ヘルプ	QuickDriveのオンラインマニュアルおよびバージョン情報を表示します。
⑥	QuickDrive for DVD/CD-ドライブ文字(番号):を終了する	該当するドライブのQuickDriveを終了します。終了はドライブ毎に行ってください。

ワンタッチトレイイジェクト機能

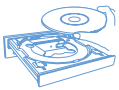
ワンクリックでトレイを開閉します。

手順.1

DVD/CDドライブが使用中でないことを確認し、QuickDriveアイコンをクリックします。
※複数のドライブがある場合は、ドライブ文字（番号）で判断してください。

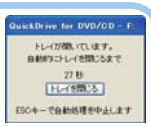
手順.2

トレイが開きます。メディアを挿入または取り出します。



参考

［ドライブのトレイが開いている場合の処理］で、［一定時間が経過した後に閉じる］設定にしている場合は、右のウィンドウが表示されます。設定した時間が経過すると自動的にトレイを閉じます。すぐにトレイを閉じる場合は、［トレイを閉じる］をクリックしてください。また、ESCキーを押すと自動的にトレイを閉じる動作を中止することができます。設定については・・・ ≫ 9ページ参照



手順.3

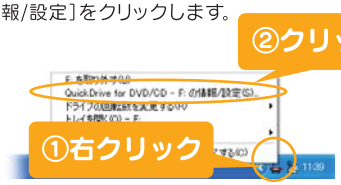
［ドライブのトレイが開いている場合の処理］で、［何もしない］設定にしている場合は、QuickDrive アイコンをクリックして、トレイを閉じます。
（トレイが戻る際、指などを挟まないようご注意ください。）
※ポータブルドライブの場合など、トレイの形状によっては閉じることはできません。その場合、トレイは手動で閉じてください。

オートイジェクト機能

Windows 終了時にドライブの中にメディアが入ったままの場合の動作を設定します。

手順.1

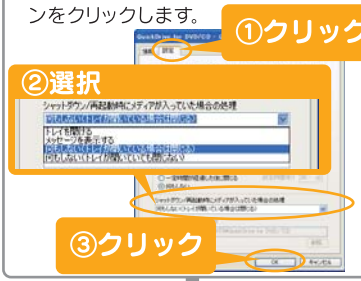
QuickDriveアイコンを右クリックし、[QuickDrive for DVD/CDの情報/設定]をクリックします。



画面例：Fドライブに書き込み済みDVD-RWを挿入した場合

手順.2

[設定]タブをクリックします。
[シャットダウン/再起動時にメディアが入っていた場合の処理]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



手順.3

[スタート]→[シャットダウン(Windowsの終了)]の順にクリックし、[シャットダウン(Windowsの終了)]もしくは[再起動]を選択します。

画面例：Windows XPの場合

＜メディアを取り出す場合＞

手順.4A

トレイが自動的に開きます。メディアを取り出し、トレイを閉じます。

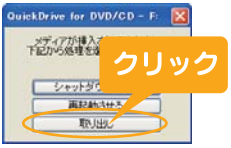
※トレイタイプの DVD ドライブの場合は、（QuickDrive アイコン）をクリックし、閉じることもできます。

＜メッセージを表示する場合＞

※Windows Vista™では「メッセージを表示する

手順.4B

メッセージが表示されます。[取り出し]し、メディアを取り出し、トレイを閉じ

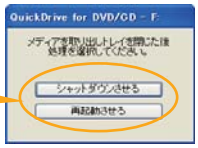


※メディアを取り出さずに Windows を終了する場合は、ここで［シャットダウンさせる］または［再起動させる］をクリックします。

＜何もしない場合＞

手順.5A

［シャットダウンさせる］もしくは［再起動させる］を選択します。



選択

※ポータブルドライブ、Windows Vista™などの場合、メッセージは表示されません。メディア排出後、自動的にシャットダウンもしくは再起動します。

」を選択できません。

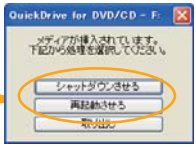
」］をクリック
じます。

※トレイタイプの DVD ドライブの場合は、（QuickDrive アイコン）をクリックし、閉じることもできます。

手順.5B

［シャットダウンさせる］もしくは［再起動させる］を選択します。

選択



手順.4C

何もせず、Windows をシャットダウンまたは再起動します。

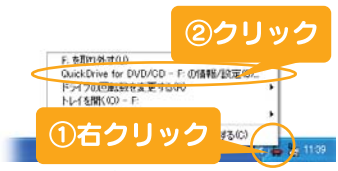
※［何もしない（トレイが空いている場合は閉じる）］に設定されている場合で、トレイが開いたままであれば、トレイを閉じます。

QuickDrive for DVD/CDの情報/設定

DVD ドライブの情報やメディア情報を確認します。
また QuickDrive の詳細な設定をおこないます。

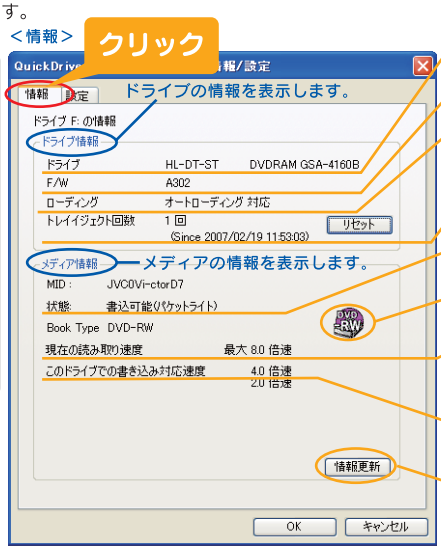
起動手順

画面右下にあるタスクトレイの QuickDrive アイコンを右クリックし、表示されたメニューより［QuickDrive for DVD/CDの情報/設定］をクリックします。



画面例：FドライブにDVD-RWを挿入した場合

＜情報＞



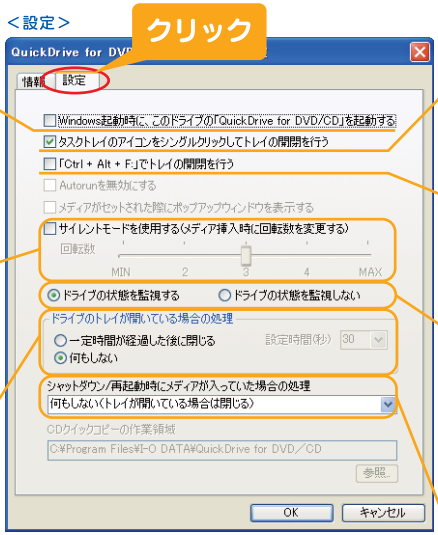
次の Windows 起動時に、自動的にこのドライブの QuickDrive を起動するように設定します。

ドライブの回転数を変更して、高速回転による騒音を低減します。
※サイレントモードが有効になります。

参考 ご使用のDVDドライブによっては回転数が変化しない場合があります。

ドライブのトレイが開いている場合の動作を設定します。
一定時間が経過した後に閉じる：トレイが開いてから一定時間後に自動的にトレイを閉じます。
(1-5-10-15-20-30-45-60 秒から設定)
何もしない：トレイが開いても何も動作しません。

＜設定＞



画面例：Fドライブにブランクの CD-RW メディアを挿入した場合

ドライブメーカー、ドライブ名を表示します。

ファームウェアバージョンを表示します。

オートローディング機能の有無を表示します。

トレイの総イジェクト回数を表示します。[リセット] を押すと 0 回に戻ります。
Since：リセットした日と時刻を表示します。

メディアの種類と状態を表示します。

メディアの種類をアイコンで表示します。

読み取り速度を表示します。

書き込み可能メディア挿入時に、そのメディアと DVD ドライブとの組み合わせで可能な書き込み速度を表示します。

参考 メディアの書き込み速度とは必ずしも一致しません。また、メディアの書き込み速度を保証するものではありません。

最新の情報に更新します。

タスクトレイの QuickDrive アイコンをシングルクリックすることで、トレイの開閉がおこなえるように設定します。

参考 この設定を無効にした場合でも、QuickDrive アイコンをダブルクリックし、トレイを開閉することができます。

[Ctrl][Alt][ドライブ文字（番号）]のキーを 3 つ同時に押すことで、トレイの開閉がおこなえるように設定します。

参考 ポータブルドライブなどの場合は以下の様な表示となり、取り出しのみおこなえます。
☐「Ctrl + Alt + H」で取り出す

ドライブの状態を監視するかどうか設定します。
ドライブの状態を監視する：メディアアイコン表示機能が有効になります。
ドライブの状態を監視しない：ドライブの状態を監視しません。

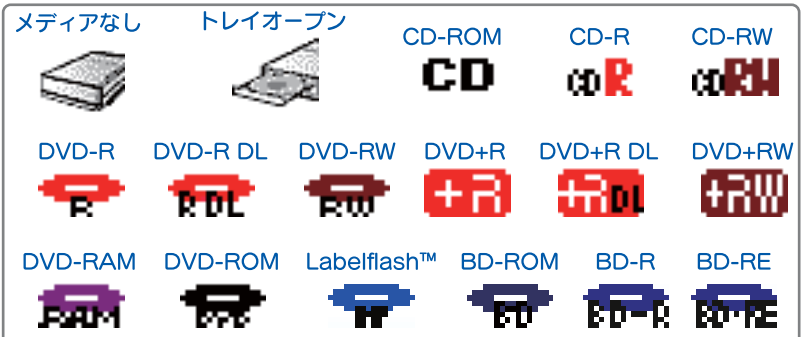
参考 ドライブ状態を監視するしないにかかわらず、下の「シャットダウン / 再起動時にメディアが入っていた場合の処理」は有効になります。

Windows終了時にメディアが入っていた場合の動作を設定します。（オートイジェクト機能）

トレイを開ける（または「メディアを取り出す」）	：トレイが自動的に開きます。メディアを取り出した後、[シャットダウンさせる] もしくは [再起動させる] を選択します。
メッセージを表示する（または「確認メッセージを表示する」）	：[シャットダウンさせる]、[再起動させる]、[取り出し] を選択するメッセージが表示されます。※Windows Vista™では表示されません。
何もしない（トレイが開いている場合は閉じる）	：何もしません。もし、トレイが開いている場合は閉じます。※ポータブルドライブでは表示されません。
何もしない（トレイが開いていても閉じない）（または「何もしない」）	：何もしません。

メディアアイコン一覧

画面右下のタスクトレイに表示される QuickDrive アイコンの一覧です。ドライブに挿入されたメディアの種類を判別して、QuickDrive アイコンが変化しますので、どのメディアが挿入されているか画面上ですぐに確認することができます。（メディアアイコン表示機能）



参考

［QuickDrive for DVD/CD の情報 / 設定］画面で、［ドライブ状態を監視しない］に設定すると、QuickDriveアイコンは黒く変化します。

［QuickDrive for DVD/CD の情報 / 設定］については・・・ ≫ 9ページ参照

アンインストール

インストールした QuickDrive のアンインストール（削除）方法について説明します。

手順.1

［スタート］→（［設定］→）［コントロールパネル］の順にクリックし、［コントロールパネル］を開きます。

手順.2

［プログラムの追加と削除］（もしくは［アプリケーションの追加と削除］、［プログラムのアンインストール］）をクリック（もしくはダブルクリック）します。

手順.3

［QuickDrive for DVD/CD L.E.］を選択し、ダブルクリック（もしくは［変更と削除］ボタンまたは［削除］ボタンをクリック）します。

※Windows Vista™では「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されます。［続行］をクリックします。

手順.4

［OK］ボタンをクリックします。

手順.5

［完了］ボタンをクリックします。

⇒以上で、インストールしたQuickDriveのアンインストールは完了です。

困ったときには

Q1. メディアを挿入してもタスクトレイの QuickDrive アイコンが変化しない

A1 そのドライブで判別できない種類のメディアが挿入された場合には、QuickDrive アイコンは変化しません。また、CD-R/RW メディアを挿入した場合、ドライブによっては CD-ROM と判別されて CD-ROM アイコンが表示されることがあります。

A2 挿入のタイミングによっては、メディアの判別に時間がかかる場合があります。その場合には、しばらくお待ちください。

Q2. パケットライトソフトと併用できない

A パケットライトソフトと併用できないことがあります。なお、DLA とは併用できません。併用できない場合は、パケットライトソフトを終了してください。

Q3. データライティングソフトや DVD オーサリングソフトなどを使ってメディアへ書き込みを行っている最中に、タスクトレイの QuickDrive アイコンが“メディアなし”に変わる。

A 書き込みを行っているソフトによってドライブが制御されているため、その間はドライブの状態を監視できず、“メディアなし”のアイコンが表示される場合があります。

Q4.QuickDrive アイコンの右クリックメニューよりドライブの回転数を変更しても、希望の回転数レベルに設定されない場合がある。

A ドライブ及びメディアの組み合わせによっては、希望の回転数レベルに設定されず、自動的にその前後のレベルに設定される場合があります。

お問い合わせ

① P.12［困ったときには］を確認する

② ホームページでサポート情報を見る

製品 Q&A、News など　http://www.iodata.jp/support/

最新ソフトのダウンロード　http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決しなかったら

☎ サポートに問い合わせる

(株)アイ・オー・データ機器サポートセンター

TEL：東京　03-3254-1095
TEL：金沢　076-260-3688
FAX：東京　03-3254-9055
FAX：金沢　076-260-3360

［受付時間］9:00 ～ 17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

【ご注意】

1) 本ソフトウェア及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本ソフトウェア及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本ソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本ソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本ソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本ソフトウェア及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
6) 本ソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各 1 部だけ複写できるものとします。
7) お客様は、本ソフトウェアを一時に 1 台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
8) お客様は、本ソフトウェアまたは、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
9) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本ソフトウェアのご使用を終了させることができるものとします。
10) 本ソフトウェアは、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本ソフトウェアを使用され、本ソフトウェアの故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本ソフトウェアは日本国内仕様です。本ソフトウェアを日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本ソフトウェアに関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This software is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this software outside Japan and provide no technical support or after-service for this software outside Japan.)
12) 本ソフトウェアは「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) 本ソフトウェアを運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft, Windows、Windows Vista™は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
● Labelflash™は、ヤマハ株式会社の商標です。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

QuickDrive LE for DVD/CD 取扱説明書　2007.02.28
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

Copyright © 2006-2007 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.
本ソフトウェア及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

I-O DATA

QuickDrive LE for DVD/CD　取扱説明書

Q-DRV_LE-E01

デジタルライフの夢を拡げる

株式会社 アイ・オー・データ機器

本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町２丁目８４番地

ホ　ー　ム　ペ　ー　ジ：http://www.iodata.jp/support/

●技術的なお問い合わせは専用サポートダイヤルへどうぞ●

金　沢／TEL.076-260-3688　FAX.076-260-3360

東　京／TEL.03-3254-1095　FAX.03-3254-9055

TEL受付時間／9：00～17：00 月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）